



## 2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月13日

上場会社名 日本和装ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2499 URL <https://www.wasou.com/profile/ir/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 道面義雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 高梨宏史 TEL 03-5843-0097  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第2四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	1,838	△30.6	△340	—	△351	—	△339	—
2019年12月期第2四半期	2,647	△7.2	333	△14.4	289	△20.7	174	△28.5

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 △338百万円 (—%) 2019年12月期第2四半期 173百万円 (△29.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	△37.43	—
2019年12月期第2四半期	19.22	—

(注) 2019年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。2020年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株あたり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	8,094	2,696	33.3
2019年12月期	9,016	3,116	34.6

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 2,696百万円 2019年12月期 3,116百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	4.00	—	9.00	13.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有  
 配当予想の修正については、本日（2020年8月13日）公表いたしました「剰余金の配当（中間配当無配）及び株主優待制度の廃止に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 2 Q	9,134,000株	2019年12月期	9,134,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期 2 Q	68,400株	2019年12月期	68,400株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 2 Q	9,065,600株	2019年12月期 2 Q	9,086,471株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症が急速に拡大し、極めて厳しい状況が続きました。政府は、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言を行い、全都道府県を緊急事態措置の対象としましたが、これにより、個人消費は急速な減少を続けました。5月には緊急事態宣言が解除され、各種政策も打ち出されたことにより、景気が持ち直しに向かうことが期待されているものの、国内外において同感染症の終息の見通しが立たないこともあり、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社も政府や各自治体からの緊急事態宣言や営業自粛要請に従い、教室を休講し、イベント等も中止したため、新型コロナウイルス感染症の事業活動への影響が顕在化し、自粛要請の長期化と共にその影響が深刻化することとなりました。その後、緊急事態宣言や自粛要請は解除され、段階的に営業を再開したことにより、売り上げは回復基調をみせたもののいまだ様子見の段階にあり、結果として自粛要請期間中の休業等の影響は極めて大きく、売上高は激減いたしました。

今後も新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、その終息時期が見通せない状況が続きますが、新型コロナウイルス感染症後の『新しい生活様式』に合わせ、スタッフの体調管理や手指の消毒、フェイスガードやマスクの着用、換気といった対策に取り組み、お客様らの健康と安全面に最大限の配慮をし、安心してイベント等に参加できる環境を提供することで、業績の回復に努めてまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績につきましては、売上高1,838百万円（前年同四半期比30.6%減）、営業損失340百万円（前年同四半期は営業利益333百万円）、経常損失351百万円（前年同四半期は経常利益289百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失339百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益174百万円）となりました。

当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心としたきもの関連事業の単一セグメントのため、セグメント情報に関連付けた記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して922百万円減少して、8,094百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少609百万円等であります。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して502百万円減少して、5,397百万円となりました。主な要因は、短期借入金の減少716百万円等であります。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して419百万円減少して2,696百万円となりました。主な要因は、当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純損失339百万円、配当金の支払81百万円等によるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,529百万円（前年同四半期は1,839百万円）となりました。なお、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は209百万円（前年同四半期は108百万円の使用）となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失351百万円、ニチクレ株式会社（当社顧客向けショッピングクレジット事業）の割賦売掛金の減少394百万円、営業未収入金の増加77百万円、前受金の減少55百万円等によるものです。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は4百万円（前年同四半期は8百万円の獲得）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1百万円、無形固定資産の取得による支出2百万円等によるものです。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は396百万円（前年同四半期は44百万円の獲得）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出1,787百万円、短期借入金の純減少額500百万円、配当金の支払額81百万円、長期借入れによる収入1,980百万円等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が長期化しており、その終息時期が見通せないことから、当社グループにおきましても現段階では合理的な2020年12月期の通期業績予想の算定を行うことが困難な状況となっております。

そのため、2020年6月17日付で公表しました「業績予想の修正、配当予想の修正及び役員報酬の減額に関するお知らせ」の通り未定といたしますが、今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

## &lt;第2四半期の事業の概況等に関する社長のコメント&gt;

第2四半期におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言の発出に伴い、同期間中は弊社日本和装ホールディングスの全国の営業拠点の休業の決定を選択しました。弊社に関わる多くのステークホルダーの皆さまの健康と安全を最優先することを判断した次第でございます。

例年の第2四半期では、春の無料きもの着付け教室に受講頂いているお客様への販売会が多数あり、その機会でも販売仲介を多くご利用頂いておりましたが、上記の通り、販売会の延期及び中止などによって、前年と比較し、大きく販売仲介の受注金額が下がったことによる売上の減少に伴い、営業利益、経常利益共に赤字に転換しました。社会情勢の変化に対応し切れず、この様な結果を招いてしまったことを経営陣一同、真摯に受け止めております。

緊急事態宣言解除後、徐々に教室や催しの再開がスタートし、お客様の安心と安全をしっかりと確保する環境作りを心掛けております。お客様も弊社の教室や催しに足を運んでくださり、弊社の販売仲介をはじめ、着付け教室やきものを着る機会など、弊社が展開する企画を利用してくださり、日本和装ホールディングスグループ一同、心から感謝いたしております。誠にありがとうございます。

現在、きもの業界では多くの企業様・団体様が苦難の局面を迎えており、この難局を乗り越えていく為には、1社の力だけではなく、きもの業界全体でうねりを起こすことが必要だと考え、発起人として多くのきもの業界関係者の方々に声をかけ、有志達が立ち上げた「きもの100万人プロジェクト」に弊社は登録をしております。同プロジェクトは、100万人の市場を創造し、きもの業界が一丸となって、情報を共有し、協働することによって、100年後の未来にきものを繋いでいくことを目的にしたものであります。多くの著名人の方からも応援メッセージを頂いており、きもの業界全体が盛り上がるのが全体の下支えとなり、それが弊社をはじめ多くの取引先、間取引先にプラスに転じることは間違いないと確信し、このプロジェクトを、いち登録企業として、多くのきもの業界の企業様、団体様が登録される様に推進し、1社ではなく、複数社で開催出来る様な催しや生産者を守る取り組みなどを進めて参る所存であります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,389,648	1,779,687
営業未収入金	230,675	308,061
割賦売掛金	5,236,289	4,841,599
たな卸資産	159,577	183,850
その他	543,728	533,621
貸倒引当金	△58,413	△61,020
流動資産合計	8,501,505	7,585,800
固定資産		
有形固定資産	226,827	209,961
無形固定資産	30,168	18,630
投資その他の資産	257,859	279,729
固定資産合計	514,854	508,321
資産合計	9,016,360	8,094,121
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	35,189	35,877
短期借入金	2,918,745	2,201,955
未払法人税等	113,161	17,877
前受金	354,568	299,541
営業預り金	28,771	84,281
その他	463,863	363,644
流動負債合計	3,914,299	3,003,177
固定負債		
長期借入金	1,978,116	2,387,162
その他	7,522	7,300
固定負債合計	1,985,638	2,394,462
負債合計	5,899,938	5,397,640
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	478,198	478,198
資本剰余金	292,211	292,211
利益剰余金	2,371,996	1,951,094
自己株式	△22,629	△22,629
株主資本合計	3,119,776	2,698,875
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△3,354	△2,393
その他の包括利益累計額合計	△3,354	△2,393
純資産合計	3,116,422	2,696,481
負債純資産合計	9,016,360	8,094,121

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2,647,159	1,838,014
売上原価	268,555	271,098
売上総利益	2,378,604	1,566,915
販売費及び一般管理費	2,044,953	1,907,752
営業利益又は営業損失(△)	333,650	△340,836
営業外収益		
受取利息	36	36
助成金収入	—	5,000
補助金収入	1,710	—
為替差益	1,097	894
その他	2,562	2,004
営業外収益合計	5,406	7,935
営業外費用		
支払利息	16,880	10,058
支払手数料	11,387	8,115
固定資産除却損	15,113	—
その他	6,308	743
営業外費用合計	49,690	18,917
経常利益又は経常損失(△)	289,366	△351,818
特別損失		
訴訟関連損失	25,000	—
特別損失合計	25,000	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	264,366	△351,818
法人税、住民税及び事業税	95,795	12,988
法人税等調整額	△6,040	△25,495
法人税等合計	89,754	△12,507
四半期純利益又は四半期純損失(△)	174,612	△339,311
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	174,612	△339,311

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	174,612	△339,311
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,325	960
その他の包括利益合計	△1,325	960
四半期包括利益	173,286	△338,350
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	173,286	△338,350



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	264,366	△351,818
減価償却費	37,383	31,174
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,841	2,607
固定資産除却損	15,113	—
訴訟関連損失	25,000	—
受取利息	△36	△36
支払利息	16,880	10,058
助成金収入	—	△5,000
為替差損益(△は益)	△1,097	111
営業未収入金の増減額(△は増加)	△55,686	△77,386
割賦売掛金の増減額(△は増加)	△306,441	394,689
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,548	△24,272
営業未払金の増減額(△は減少)	18,280	687
前受金の増減額(△は減少)	145,171	△55,027
営業預り金の増減額(△は減少)	14,409	55,510
割賦利益繰延の増減額(△は減少)	12,470	△9,304
その他	△57,987	△74,035
小計	120,120	△102,041
利息の受取額	36	36
利息の支払額	△15,599	△13,262
助成金の受取額	—	5,000
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△213,080	△99,594
営業活動によるキャッシュ・フロー	△108,523	△209,861
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△24,535	△1,577
無形固定資産の取得による支出	△778	△2,147
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△1,724	—
敷金及び保証金の差入による支出	△2,558	△2,854
敷金及び保証金の回収による収入	37,571	2,079
その他	54	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,029	△4,497
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△651,329	△500,000
長期借入れによる収入	2,270,000	1,980,000
長期借入金の返済による支出	△1,434,442	△1,787,744
配当金の支払額	△73,072	△81,590
自己株式の取得による支出	△56,397	—
リース債務の返済による支出	△10,214	△6,883
財務活動によるキャッシュ・フロー	44,545	△396,217
現金及び現金同等物に係る換算差額	△453	615
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△56,402	△609,960
現金及び現金同等物の期首残高	1,896,161	2,139,547
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,839,759	1,529,586

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、当社グループの事業活動に一定の影響を及ぼしております。

当社グループでは、四半期連結財務諸表作成時に入手可能な情報に基づき、新型コロナウイルス感染症による当社グループ事業への影響が翌連結会計年度末にかけて収束していくとの仮定のもと、固定資産の減損会計及び繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、この仮定は不確実性が高く、将来における実績値に基づく結果が、これらの見積り及び仮定とは異なる可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自2019年1月1日 至2019年6月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自2020年1月1日 至2020年6月30日）

当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心としたきもの関連事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。